

JR四国グループ

中期経営計画2025の達成に向けた取組み

【2022年度第4四半期 報告書】

2023年6月13日

四国旅客鉄道株式会社

目次

本報告書は2020年3月に国土交通大臣より受領した指導文書に基づき、四半期毎に実施される国土交通省との検証結果を報告するものです。

1. 主要施策KPIの達成状況

- (1) 主要施策KPIについて
- (2) 検証項目一覧
- (3) 2022年度第4四半期の検証結果（総括）
- (4) 2022年度の検証結果（総括）
- (5) 2022年度第4四半期の実績等

2. 2023年度の主要施策KPI等

- (1) 2023年度の主要施策KPIの設定について
- (2) 2023年度のKPI・KGI

1. 主要施策KPIの達成状況

(1) 主要施策KPIについて

中期経営計画2025の施策のうち、2022年度に取り組む主要なものについて、KPIとKGIを設定し、本検証の対象としました。収入やご利用者数の項目については、業種・業態の特性に応じて感染症の影響を見込んだKPIを設定しました。

※KPI（Key Performance Indicator）とは、最終的な目標（KGI：Key Goal Indicator）を達成するための過程を計測する中間指標です。

(2) 検証項目一覧

	KPI項目
鉄道運輸収入の安定的な確保	①鉄道運輸収入の確保 ②利便性向上によるお客様満足度の向上 ③新チケットシステム検討・システムリリース ④ものがたり列車・藍よしのがわトロッコ乗車人員 ⑤イベントの実施及び地域イベントと連動した取組み ⑥「四国家のお宝」の更なる充実による観光振興
非鉄道事業における 最大限の収益拡大	⑦(株)JR四国ホテルズの売上高 ⑧高松駅ビル開発の推進 ⑨J.CREST県庁前（高松市天神前マンション）の事業推進 ⑩四国キヨスク(株)のコンビニ店・土産店部門売上高
生産性向上・その他	⑪多度津工場の近代化 ⑫コスト削減の取組み ⑬運転資金の確保

1. 主要施策KPIの達成状況

(3)2022年度第4四半期(1~3月)の検証結果(総括)

○検証項目13項目のうち、9項目でKPIを達成、2項目で不達成、1項目で一部達成となりました。
(1項目は4QのKPI設定なし)

○「鉄道運輸収入の安定的な確保」と「非鉄道事業における最大限の収益拡大」については、全国旅行支援を活用した商品造成・販売、各種取組みによりご利用の促進に努めました。これらの結果、収入関係の項目で「鉄道運輸収入の確保」の定期収入、「ものがたり列車・藍よしのがわトロッコ乗車人員」、「(株)JR四国ホテルズの売上高」、「四国キヨスク(株)のコンビニ店・土産店部門売上高」のKPIについて達成することができました。また、お客様の利便性向上施策や高松駅ビル開発の推進、マンション事業推進の項目でも計画通り進め、KPIを達成しました。

○「生産性向上、その他」については、多度津工場の近代化で工程の見直しが発生し不達成となりましたが、コスト削減のための各種施策及び運転資金の確保に計画通り取組み、KPIを達成しました。

(4)2022年度の検証結果（総括）

○検証項目13項目のうち、9項目でKGIを達成、3項目で不達成、1項目で一部達成となりました。

○収入関係の項目については、新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」という）による行動制限が緩和される中、グループ一体で各種イベントの実施や地域イベントの開催に合わせた商品造成、全国旅行支援を活用した商品造成・販売に取り組み、ご利用の促進に努めました。その結果、鉄道運輸収入を始め、観光列車の乗車人員や四国キヨスク(株)の店舗売上高などでKGIを達成することができました。

○それ以外の項目については、計画通り着実に施策を実行し、ほとんどの項目でKGIを達成することができました。

○2023年度においても、中期経営計画2025の目標達成に向けて更なる利便性の向上、生産性の向上に資する取組みを進めるとともに、収益拡大に向けた各種施策をグループ一体となって展開してまいります。

(5) 2022年度第4四半期の実績等

① 鉄道運輸収入の確保

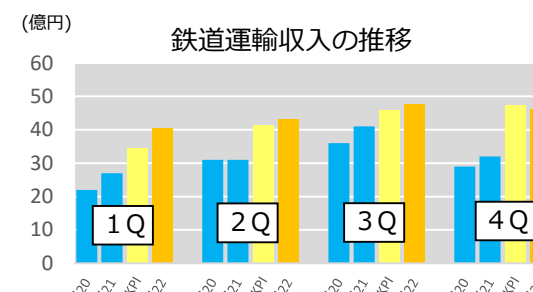
当社の収益において最大の割合を占める鉄道事業の収益確保に取り組みました。

定期収入			定期外収入		
4Q KPI	4Q 実績	達成率	4Q KPI	4Q 実績	達成率
9.1億円	9.1億円	100.7%	38.2億円	36.9億円	96.8%



2022年度KGI
鉄道運輸収入169億円の達成 (実績：177億円) 《達成》

- ◆ 検証結果
 - ・チケットアプリ「しこくスマートえきちゃん」のご利用促進のほか、全国旅行支援を活用した旅行商品の造成・発売、インバウンド向けパスの増売に努めました。
 - ・感染症が落ち着き、定期外収入は本州方面を中心にご利用が回復しましたが、4Qは年度末に平年の9割の水準まで収入が回復する高めの計画としていたため、惜しくも達成とはなりませんでした。
 - ・年度全体では、定期外、定期ともにKGIを達成しました。
- ◆ 今後の取組み
 - ・2023年度はアフターコロナに向け、さらなるご利用の回復が期待されますが、運賃改定やチケットアプリのご利用促進等、各種営業施策に取り組むことにより、収入の確保に努めてまいります。



② 利便性向上によるお客様満足の上

お客様満足の向上を目指し、各種サービス・設備の導入や多言語案内の充実等に取り組みました。

4Q KPI	4Q 実績	達成状況
デジタルサイネージの新設 (56駅)、駅券売機の多言語対応の充実 (徳島駅・高知駅)	実施済み	○



2022年度KGI
各種サービス・設備の導入や多言語案内の充実 《達成》


- ◆ 検証結果
 - ・無人駅において列車の運行情報を音声に加え、映像でもお知らせできるデジタルサイネージを56駅に新設しました。また、徳島駅と高知駅で多言語対応した券売機を導入したほか、高知駅・旭駅・朝倉駅・伊野駅・佐川駅で案内サインを多言語化するなど、ご利用しやすい駅づくりに取り組みました。
 - ・年度を通じて計画通り各種サービス・設備の導入や多言語案内の充実を図り、KGIを達成しました。
- ◆ 今後の取組み
 - ・2023年度はデジタルサイネージの新設をさらに46駅拡大し、多言語案内の充実を図る予定です。



(5) 2022年度第4四半期の実績等

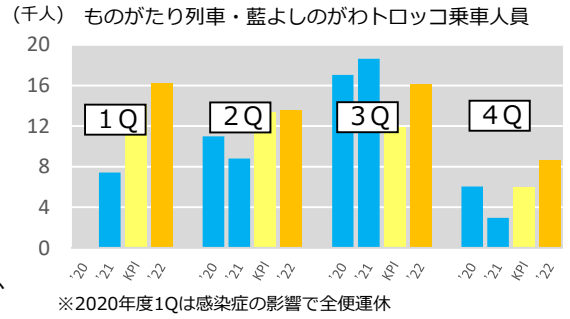
③新チケットシステム検討・システムリリース

2023年4月に、スマートフォンによりJR四国エリア内のきっぷを購入できるチケットアプリを公開しました。

4Q KPI	4Q 実績	達成状況	2022年度KGI
2023年春のチケットアプリ（本稼働）公開準備完了	実施済み	○	2023年春のチケットアプリ（本稼働）の公開準備完了 《達成》
◆検証結果	<ul style="list-style-type: none"> ・チケットアプリ「しこくスマートえきちゃん」の大幅なバージョンアップを3月29日に実施し、販売対象券種の拡大と便利にお使いいただける機能の拡充を行いました。 ・2023年4月から、高松駅と高知駅において券面に設ける二次元バーコードを専用改札機にかざすことで、スムーズに改札を通過できるようになるなど、さらに便利にご利用いただけるよう準備を進めました。 		
◆今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・より使いやすいアプリを目指し、利便性向上に向けた検討を進めていきます。 		

④ものがたり列車・藍よしのがわトロッコ乗車人員

魅力的な観光列車やトロッコ列車の運行により、四国への誘客促進や鉄道のご利用促進に取り組みました。

4Q KPI	4Q 実績	達成率	2022年度KGI
5,900人 +フィオーレ [※] 300人 ※グリーン個室	8,601人 +フィオーレ 398人	145.1%	45,000人+フィオーレ1,790人 (実績54,533人+フィオーレ2,250人) 達成
◆検証結果	<ul style="list-style-type: none"> ・1月、2月にはイベント及び特別運転を実施するとともにニュースリリースやSNS等を活用して情報発信を積極的に行うことで話題を提供しました。 ・特別運転にあわせた季節限定メニューの開発や車内アラカルトメニューのブラッシュアップを図ることで列車の魅力付けに努めました。 ・感染拡大が落ち着いたことに加え、全国旅行支援の開始により想定以上のご利用があり、2022年度はKPI・KGIともに目標を達成することができました。 		<p>(千人) ものがたり列車・藍よしのがわトロッコ乗車人員</p>  <p>※2020年度1Qは感染症の影響で全便運休</p>
◆今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年度も引き続き、様々なイベントや特別運転の企画を実施するほか、車内のアラカルトメニューやお土産等のブラッシュアップを図ります。また積極的な情報発信や広告宣伝を展開し、列車の魅力づくりや利用促進に努めます。 		

(5) 2022年度第4四半期の実績等

⑤ イベントの実施及び地域イベントと連動した取組み

各種イベントの実施及び地域イベントと連携した商品の造成や販売に取組み、四国への誘客促進を図りました。

4Q KPI		4Q 実績	達成率	2022年度KGI	
設定なし		-		◆第2回予土線FunFun祭り 来場者数:2,000人、臨時列車乗車人員:500人 (実績:来場者数2,230人、乗車人員500人) 《達成》	
◆検証結果	<ul style="list-style-type: none"> 瀬戸内国際芸術祭、えひめ南予きずな博といった地域イベントが開催されることから、これを契機に関連する旅行・特別企画商品を造成・販売することで、更なる旅行需要の拡大に繋げてまいりました。しかしながら、感染症の拡大もありイベント全体の集客が振るわなかったこともあり、年度KGIは達成とはなりませんでした。 予土線FunFun祭り、しおかぜ・南風リバイバル運転等については、鉄道150周年の盛り上がりもあり目標を上回りました。 			◆地域イベント、リバイバル運転 旅行商品・特企商品:販売額50.1百万円 (47企画 4,430人) (実績36.4百万円(63企画2,855人)) 《不達成》	
◆今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 「瀬戸大橋開業35周年」「NHK連続テレビ小説『らんまん』」「弘法大師空海御誕生1250年」など、社内外の行事・イベントを契機とした鉄道利用促進策(ツアーやスタンプラリーの設定など)に努めて参ります。 				

⑥ 「四国家のお宝」の更なる充実による観光振興

四国の地域資源・文化資源を掘り起こし、地域と協働して観光素材に磨き上げ旅行商品として販売することで、観光による地域活性化に取り組みました。

4Q KPI			4Q 実績		達成率	2022年度KGI	
参加人数	220人	(8企画催行)	参加人数	183人	(9企画催行)	83.2%	参加人数1,000人 (32企画催行) (実績575人(25企画催行)) 《不達成》
◆検証結果	<ul style="list-style-type: none"> 9企画を催行することができましたが、四国家のお宝BEST版の2企画のうち、各1団が、集客不足のため、催行中止となりました。 						<p>四国家のお宝 参加人数</p>
◆今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 4Qについては、四国内の4国立大学との連携による四国家のお宝の設定を開始しました。今後も、自治体、大学、信用金庫、四国家サポーターズクラブ等との連携による観光開発、新規顧客の開拓に取り組みます。 						

(5) 2022年度第4四半期の実績等

⑦ ホテルセグメント ー(株)JR四国ホテルズの売上高

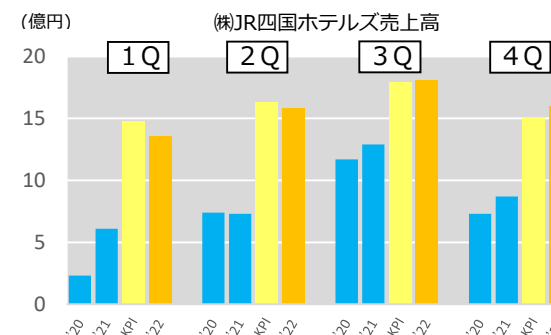
マーケット動向等を注視しつつ、幅広いお客様にご利用いただける取組みやサービスレベルの向上に努めました。

4Q KPI	4Q 実績	達成率
15.1億円	16.0億円	106.3%



2022年度KGI
64.2億円（実績63.6億円）《不達成》

- ◆ 検証結果
 - ・徹底した感染拡大防止に取り組みながら、全国旅行支援等の効果により宿泊部門を中心とした売上確保に努めた結果、計画を達成しました。
- ◆ 今後の取組み
 - ・安全・安心で上質なサービスの提供を基本としながら、行動様式の変容やお客様のニーズに対応しつつ、感染症前までの収益水準の回復に取り組めます。



⑧ 駅ビル・不動産セグメント ー高松駅ビル開発の推進

街の「顔」となり、人が集い、にぎわいあふれる拠点を目指し、2023年度の開業に向け取り組みます。

4Q KPI	4Q 実績	達成状況
建設工事（進捗率50%）	実施済み	○



2022年度KGI
建設工事 進捗率50%（実績50.4%）《達成》

- ◆ 検証結果
 - ・商業棟は、鉄骨の組み立てが完了し、耐火被覆工事等を行いました。
 - ・駐車場棟は、鉄骨の組み立てを行いました。
 - ・高松駅コンコースの増床工事を行いました。
- ◆ 今後の取組み
 - ・建設工事の計画的な推進に向け、施工管理に努めます。
 - ・運管理体制の構築等、2024年3月の「TAKAMATSU ORNE」開業に向けた準備を進めていきます。



【建物外観イメージ】

(5) 2022年度第4四半期の実績等

⑨ 駅ビル・不動産セグメント — J.CREST県庁前（高松市天神前マンション）の事業推進

JR四国ブランドの分譲マンション「J.CREST県庁前」の2023年度分譲完了に向け、建設・販売を推進します。

4Q KPI	4Q 実績	達成状況	2022年度KGI
建築工事の推進	実施済み	○	2023年度2Qの竣工・引渡しに向けた施工と販売活動 《達成》

- ◆ 検証結果
 - ・計画通り躯体工事を実施し、4Qにマンション上棟しました。
 - ・第一期・第二期販売住戸の早期契約のため、物件ホームページ刷新や新聞折込チラシ等の広告宣伝を実施しました。
- ◆ 今後の取組み
 - ・2023年度2Qのマンション竣工・引渡に向けて、建築工事及び各種検査等を着実に実施します。



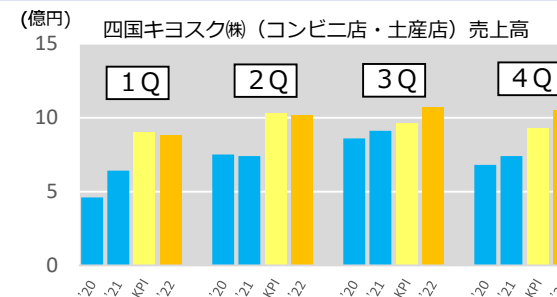
【外観イメージ】

⑩ 飲食・物販セグメント — 四国キヨスク(株)のコンビニ店・土産店部門売上高

地元のお客様に向けた商品の品揃えを強化するとともに、大型イベントの開催に合わせた取組みにより売上高の確保を図りました。

4Q KPI	4Q 実績	達成率	2022年度KGI
9.3億円	10.5億円	113.6%	38.4億円（実績40.4億円） 《達成》

- ◆ 検証結果
 - ・コンビニ店においては販売促進に力を注ぎ、駅ソト店舗に比べて飲料の販売力が高い「駅ナカ特性」を活かすことで大きく伸ばしました。
 - ・土産店においては「鉄道150周年記念」に併せた企画商品を販売したほか、各地の話題商品、地元の県産品優秀商品を販売することで大きな効果がありました。また、揚げびっぴ・サクマ缶ドロップなど、P B商品開発も手掛けました。
- ◆ 今後の取組み
 - ・引続きコンビニ店においては各種販売促進に取組むとともにTVで話題の商品をいち早く導入・販売します。土産店は店内イベント開催とP B商品の開発に努めます。



(5) 2022年度第4四半期の実績等

⑪ 多度津工場の近代化

建物や機械設備の更新にあわせ、自動化やレイアウト変更を行うことで作業効率の大幅な改善に取り組みます。

4Q KPI	4Q 実績	達成状況	2022年度KGI
設計の完了：立体倉庫設備等 工事の完了：ボイラ室等新築、ボイラ設備設置、 各種試験機等取替	工事未完	×	各種設計の完了、年度工事の完了 《不達成》

- ◆ 検証結果
 - ・ 工事予定地で汚染土壌が検出されたことから、その対応策のため工程の見直しが必要になりました。
- ◆ 今後の取組み
 - ・ 対策実施の上、早期の工事着手・完了を目指します。

⑫ コスト削減の取組み

感染症の影響により厳しい状況が続くことを踏まえ、業務のデジタル化や安全に影響しない修繕費の見直し等により、グループを挙げてコスト削減に取り組みます。

4Q KPI	4Q 実績	達成状況	2022年度KGI
コスト削減（JR四国0.3億円、グループ会社0.1億円）	コスト削減（JR四国0.7億円、グループ会社0.7億円）	○	コスト削減（JR四国1.6億円、G会社0.4億円） 要員削減に向けた取組みの推進（△25名程度） （実績：コスト削減JR四国2.8億円、G会社2.8億円） 《達成》

- ◆ 検証結果
 - ・ （当社）業務のデジタル化、安全に影響しない修繕費の見直し、ダイヤ改正に伴い作成する業務用冊子の見直し等に継続して取り組みました。
 - ・ （グループ会社）各社において、要員の見直しや広告宣伝費の削減等に取り組みました。
- ◆ 今後の取組み
 - ・ これまでに実施している施策の継続的な実施や新たな施策にも取り組み、引き続きコスト削減に努めます。

⑬ 運転資金の確保

感染症の影響が見込まれる中、事業継続を確実なものとしします。

4Q KPI	4Q 実績	達成状況	2022年度KGI
現金及び現金同等物（短期貸付金を除く）の期末残高50億円以上を確保	確保	○	現金及び現金同等物（短期貸付金を除く）の期末残高50億円以上を確保 《達成》

- ◆ 今後の取組み
 - ・ 引き続き収入の確保及びコスト削減に取り組むとともに、事業運営に必要な運転資金の確保に努めます。

2022年度第4四半期KPI検証結果（総括表）

	項目	内訳	KPI		実績	達成状況
鉄道運輸収入の 安定的な 確保	①鉄道運輸収入の確保 KGI：鉄道運輸収入169億円の達成 実績：177億円 《達成》	定期収入	1Q	9.7億円	10.1億円	103.4%
			2Q	9.9億円	9.9億円	99.2%
			3Q	10.2億円	10.0億円	98.6%
			4Q	9.1億円	9.1億円	100.7%
		定期外収入	1Q	24.5億円	30.4億円	123.9%
			2Q	31.2億円	33.2億円	106.6%
			3Q	35.5億円	37.5億円	105.6%
			4Q	38.2億円	36.9億円	96.8%
	②利便性向上によるお客様満足の上 KGI：各種サービス・設備の導入や多言語案内の充 実 実績：計画通り実行 《達成》	1Q	多言語での列車運行情報の充実		達成	○
		2Q	待合室の拡大（阿波池田駅）		達成	○
		3Q	チケットアプリ先行稼働（割引きっぷ等 の一部商品）、お客様アンケートの実施		達成	○
		4Q	デジタルサイネージの新設（56駅）、駅 券売機の多言語対応の充実（徳島駅・高 知駅）		達成	○
③新チケットシステム検討・システムリリース KGI：2023年春のチケットアプリ（本稼働）の公 開準備完了 実績：計画通り実行 《達成》	1Q	2022年秋のチケットアプリ（先行稼働） 公開に向けた開発を進める。		達成	○	
	2Q	2022年秋のチケットアプリ（先行稼働） の公開準備完了		完了時期延期	×	
	3Q	2023年春のチケットアプリ（本稼働）公 開に向けた開発を進める。		達成	○	
	4Q	2023年春のチケットアプリ（本稼働）の 公開準備完了		達成	○	

2022年度第4四半期KPI検証結果（総括表）

	項目	内訳	KPI	実績	達成状況	
鉄道運輸収入の安定的な確保	④ものがたり列車・藍よしのがわトロッコ乗車人員		1 Q 14,000人+フィオーレ500人	16,205人+フィオーレ713人	116.7%	
			2 Q 13,300人+フィオーレ550人	13,577人+フィオーレ586人	102.3%	
			3 Q 11,800人+フィオーレ440人	16,150人+フィオーレ553人	136.5%	
			4 Q 5,900人+フィオーレ300人	8,601人+フィオーレ398人	145.1%	
		KGI：45,000人+フィオーレ1,790人				
		実績：54,533人+フィオーレ2,250人《達成》				
	⑤イベントの実施及び地域イベントと連動した取り組み	1 Q	◆第2回 来場者数：2,000人	来場者数：2,230人	111.5%	
			予土線FunFun祭り 臨時列車乗車人員：500人	乗車人員：500人	100.0%	
			◆瀬戸内国際芸術祭・えひめ南予きずな博・しおかぜ・南風リバイバル運転	販売額 11.2百万円 (21企画 782人)	96.4%	
			◆瀬戸内国際芸術祭・えひめ南予きずな博・しおかぜ・南風リバイバル運転	販売額 11.5百万円 (14企画 1,090人)		
		2 Q	◆瀬戸内国際芸術祭・えひめ南予きずな博・しおかぜ・南風リバイバル運転	販売額 12.0百万円 (21企画 1,055人)	61.7%	
			◆瀬戸内国際芸術祭・えひめ南予きずな博・しおかぜ・南風リバイバル運転	販売額 19.3百万円 (17企画 1,740人)		
		3 Q	◆瀬戸内国際芸術祭・えひめ南予きずな博・しおかぜ・南風リバイバル運転	販売額 13.3百万円 (21企画 1,018人)	68.5%	
		4 Q	—	—	—	
	KGI：第2回予土線FunFun祭り 来場者数：2,000人 臨時列車乗車人員：500人 瀬戸内国際芸術祭・えひめ南予きずな博・しおかぜ・南風リバイバル運転 旅行商品・特企商品：販売額50.1百万円 (47企画 4,430人)					
	実績：予土線FunFun祭り 来場者数:2,230人 臨時列車乗車人員:500人《達成》 瀬戸芸・えひめ南予、リバイバル運転 旅行商品・特企商品販売額 36.4百万円《不達成》					
⑥「四国家のお宝」の更なる充実による観光振興	1 Q	参加人数	190人	161人	84.7%	
	2 Q	参加人数	200人	12人	6.0%	
	3 Q	参加人数	390人	219人	56.2%	
	4 Q	参加人数	220人	183人	83.2%	
	KGI：参加人数 1,000人					
	実績：参加人数575人《不達成》					

2022年度第4四半期KPI検証結果（総括表）

	項目	内訳	KPI		実績	達成状況
非 鉄 道 事 業 に お け る 最 大 限 の 収 益 拡 大	⑦(株)JR四国ホテルズの売上高 KGI：64.2億円 実績：63.6億円 《不達成》		1 Q	14.8億円	13.6億円	91.5%
			2 Q	16.3億円	15.8億円	97.2%
			3 Q	17.9億円	18.1億円	101.1%
			4 Q	15.1億円	16.0億円	106.3%
	⑧高松駅ビル開発の推進 KGI：建設工事（進捗率50%） 実績：建設工事（進捗率50.4%） 《達成》		1 Q	建設工事（進捗率5%）	達成	○
			2 Q	〃（進捗率15%）	達成	○
			3 Q	〃（進捗率30%）	達成	○
			4 Q	〃（進捗率50%）	達成	○
	⑨J.CREST県庁前（高松市天神前マンション）の 事業推進 KGI：2023年度2Qの竣工・引渡しに向けた施工と 販売活動 実績：計画通り実行 《達成》		1 Q	第一期販売開始	達成	○
			2 Q	建築工事の推進	達成	○
			3 Q	第二期販売開始	達成	○
			4 Q	建築工事の推進	達成	○
	⑩四国キヨスク(株)のコンビニ店・土産店部門売上 高 KGI：38.4億円 実績：40.4億円 《達成》		1 Q	9.0億円	8.8億円	98.1%
			2 Q	10.3億円	10.2億円	98.8%
			3 Q	9.6億円	10.7億円	111.6%
			4 Q	9.3億円	10.5億円	113.6%

2022年度第4四半期KPI検証結果（総括表）

	項目	内訳	KPI	実績	達成状況	
生産性向上・その他	⑪多度津工場の近代化	KGI：各種設計の完了、年度工事の完了 実績：工事未完 《不達成》	1Q	設計の着手：各種設計 工事の完了：座席清掃装置設置	達成	○
			2Q	設計の完了：入場前処理場、エンジン検修設備、各種試験機等	達成	○
			3Q	工事の完了：車両ゲート等設置、エンジン塗装設備設置	不達成	×
			4Q	設計の完了：立体倉庫設備等 工事の完了：ホバークレーン室等新築 ホバークレーン設備設置、各種試験機等取替	不達成	×
	⑫コスト削減の取組み	KGI：コスト削減 (JR四国1.6億円、グループ会社0.4億円) 要員削減に向けた取組みの推進(△25名程度) 実績：コスト削減（JR四国2.8億円、グループ会社2.8億円） 《達成》	1Q	コスト削減（JR四国0.5億円、グループ会社0.1億円）	達成	○
			2Q	コスト削減（JR四国0.3億円、グループ会社0.1億円）	達成	○
			3Q	コスト削減（JR四国0.3億円、グループ会社0.1億円）	達成	○
			4Q	コスト削減（JR四国0.3億円、グループ会社0.1億円）	達成	○
	⑬運転資金の確保	KGI：現金及び現金同等物（短期貸付金を除く）の期末残高50億円以上を確保 実績：計画通り実行 《達成》	1Q	現金及び現金同等物（短期貸付金を除く）の期末残高50億円以上を確保	達成	○
			2Q	〃	達成	○
			3Q	〃	達成	○
			4Q	〃	達成	○

2. 2023年度の主要施策KPIの設定について

(1) 2023年度の主要施策KPIの設定について

○中期経営計画2025及び2023年度事業計画の達成に向け、2023年度の主要な施策に対するKPI及びKGIを設定します。

○以下の9項目について、KPI及びKGIを設定し、取り組んでまいります。

I 鉄道運輸収入の安定的な確保

①鉄道運輸収入の確保

②チケットアプリの定着・拡大

③ものがたり列車・藍よしのがわトロッコ乗車人員

④利便性向上によるお客様満足の上昇

⑤「四国家のお宝」の更なる充実による観光振興

II 非鉄道事業における最大限の収益拡大

⑥連結売上高の確保

⑦(株)JR四国ホテルズの売上高

⑧四国キヨスク(株)のコンビニ店・土産店部門売上高

III 生産性向上・その他

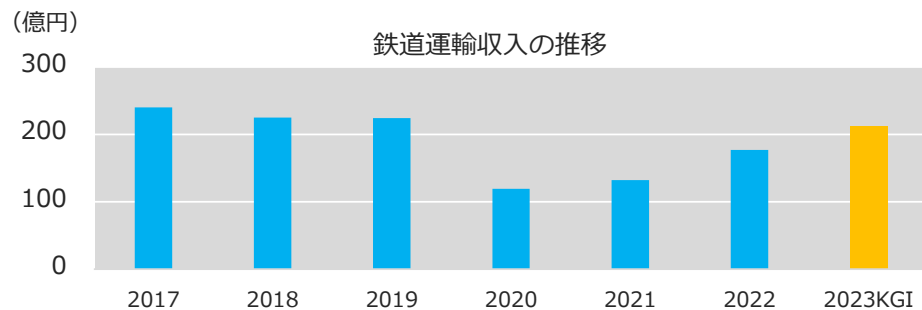
⑨コスト削減の取り組み

(2) 2023年度のKPI・KGI

① 鉄道運輸収入の確保

- ・当社の収益において最大の割合を占める鉄道事業の収益について、KPI・KGIを設定します。
- ・以下のような各種施策に取り組み、事業計画で計画した鉄道運輸収入212億円（対前年度実績比119.2%、2019年（暦年）比89.8%）の達成を目指します。

KPI	定期収入	定期外収入	主な取組み
1Q	10.6億円	39.0億円	(目標) 定期収入：平年（2019暦年）の約9割の水準で推移。 定期外：2022年度末に平年（2019暦年）の約8割の水準まで回復、2023年度末にかけて徐々に回復。 上記の想定に運賃改定や料金見直し等、各種施策による影響を加味。 ・デジタルを活用した取組みの推進 ・行事や地域イベントと連携した観光需要拡大 ・インバウンド本格回復に向けた取組み
2Q	10.8億円	43.8億円	
3Q	11.5億円	43.7億円	
4Q	10.6億円	41.2億円	
KGI	鉄道運輸収入212億円の達成		



【参考】2022年度実績

KPI	定期収入	定期外収入
1Q	10.1億円	30.4億円
2Q	9.9億円	33.2億円
3Q	10.0億円	37.5億円
4Q	9.1億円	36.9億円
通年	鉄道運輸収入177億円	

② チケットアプリの定着・拡大

2023年度から本格稼働したチケットアプリのご利用の定着・拡大を目指します。

チケットアプリの取扱収入についてKPI・KGIを設定します。

KPI	定期収入	定期外収入	主な取組み
1Q	17百万円	46百万円	各種取組によりご利用定着・拡大を図る。 ・積極的な情報発信によるアプリ登録者数の増 ・定期券ご利用者へアプリ利用の働きかけ ・アプリ機能の拡大によるさらなる利便性向上
2Q	55百万円	70百万円	
3Q	111百万円	87百万円	
4Q	280百万円	96百万円	
KGI	463百万円	299百万円	



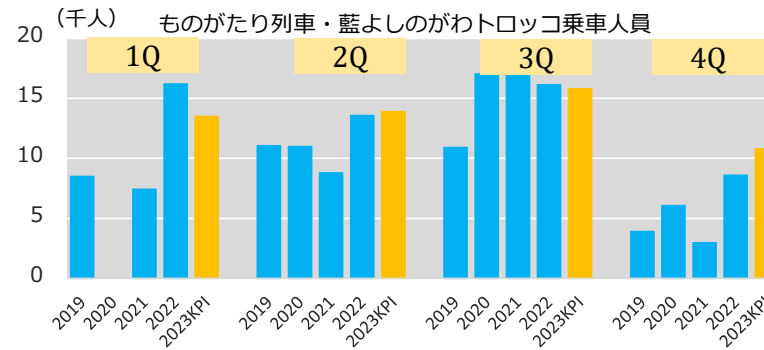
(2) 2023年度のKPI・KGI

③ものがたり列車・藍よしのがわトロッコ乗車人員

- ・2022年度に引き続き観光列車乗車人員について、KPI・KGIを設定します。
- ・主な施策として、以下に取り組みます。
食事や車内販売メニューのブラッシュアップを図るとともに、スイーツ紀行など特別感のある列車を運行する。
インバウンドなど貸切団体運行についてご利用拡大を図る。

1Q	13,500人
2Q	13,900人
3Q	15,800人
4Q	10,800人
KGI	54,000人

【参考】2022年度実績：54,533人+フィオーレ2,250人



※2020年度1Qは感染症の影響で全便運休

④利便性向上によるお客様満足の上昇

お客様満足の上昇を目指し、車両リニューアルのほか、各種サービス・設備の導入拡大に取り組みます。

1Q	8000系車両リニューアル材料発注 ^{※1} 1200型車両リニューアル工事設計、材料発注 ^{※1}
2Q	8000系車両リニューアル工事開始
3Q	サービス改善アンケートの実施 8000系車両リニューアル工事完了 1200型車両リニューアル工事開始
4Q	デジタルサイネージの導入拡大 (46駅) ^{※2} 駅トイレの洋式化 (坂出駅、丸亀駅、徳島駅、高知駅) みどりの券売機プラスの導入拡大 (高松駅、徳島駅、高知駅) 1200型車両リニューアル工事完了
KGI	車両リニューアル工事の完了、各種サービス・設備の導入拡大

※1 2023年度予定している車両のリニューアルは以下の通りです。
8000系（特急電車）車両 3両1編成
1200型（気動車）車両 1両

※2 導入予定駅は以下の通りです。
徳島線：穴吹～辻 8駅
予土線：近永・伊予宮野下 2駅
土讃線：簗蔵～窪川 36駅

(2) 2023年度のKPI・KGI

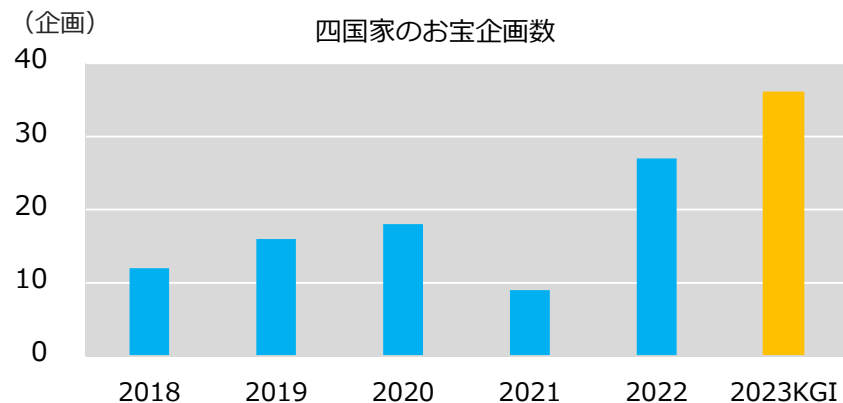
⑤ 「四国家のお宝」の更なる充実による観光振興

・四国の地域資源・文化資産を掘り起こし、地域と協業して観光素材に磨き上げ、観光による地域活性化を目指す「四国家のお宝」の企画数について、KPI・KGIを設定します。

・自治体や関係企業・団体との連携による新規企画の開発など、魅力的な素材開発に取り組みます。

1 Q	14企画	(参加人数 200人)
2 Q	3企画	(参加人数 30人)
3 Q	12企画	(参加人数 320人)
4 Q	7企画	(参加人数 150人)
KGI	36企画	(参加人数 700人)

【参考】2022年度実績：27企画

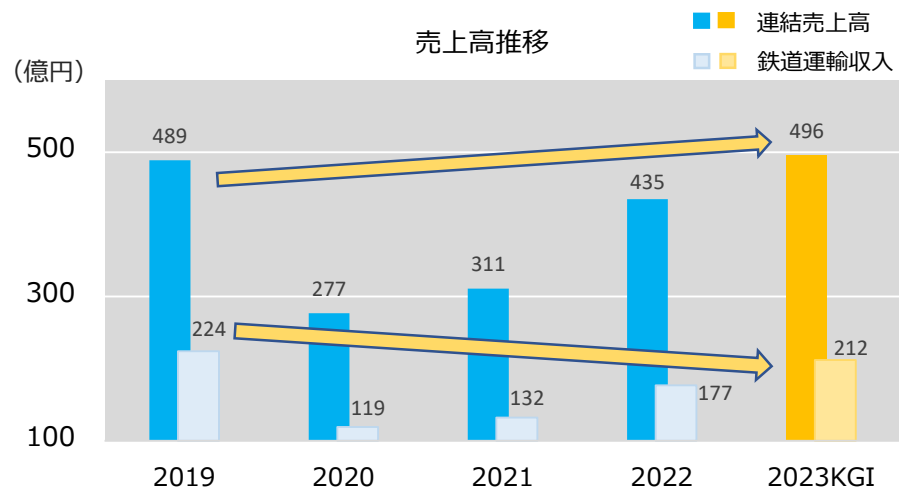


⑥ 連結売上高の確保

・非鉄道事業のさらなる収益拡大に向け、グループ一体となった取組みにより、コロナ禍前の2019年度を上回る連結売上高を目指します。

1 Q (累計)	108億円 (鉄道運輸収入50億円)
2 Q (累計)	244億円 (鉄道運輸収入104億円)
3 Q (累計)	367億円 (鉄道運輸収入160億円)
4 Q (累計)	496億円 (鉄道運輸収入212億円)
KGI	連結売上高496億円の達成

【参考】2022年度実績：435億円



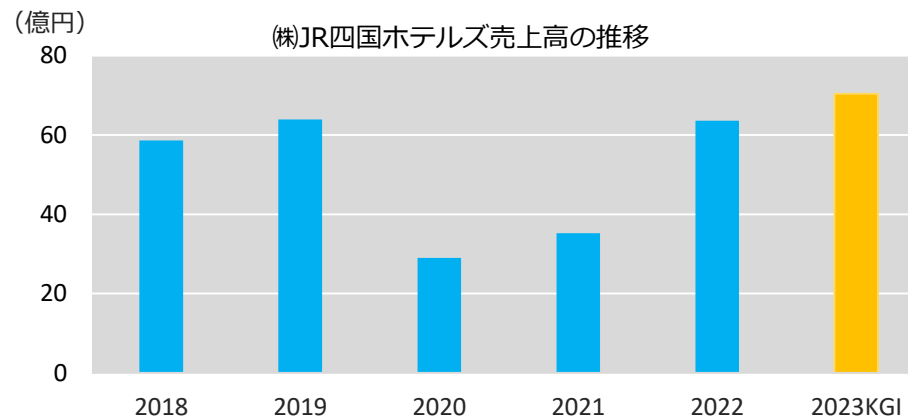
(2) 2023年度のKPI・KGI

⑦ JR四国ホテルズの売上高

- ・(株)JR四国ホテルズの売上高について、KPI・KGIを設定します。
- ・行動様式の変容やお客様のニーズに対応し、幅広いお客様にご利用いただける取組みやサービスレベルの向上に努めます。

1Q	16.4億円
2Q	17.8億円
3Q	19.7億円
4Q	16.5億円
KGI	70.4億円

【参考】2022年度実績：63.6億円

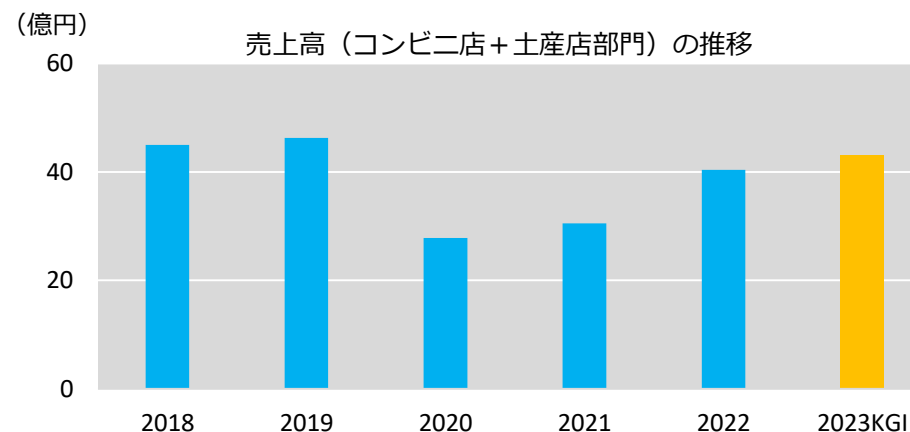


⑧ 四国キヨスク(株)のコンビニ店・土産店部門売上高

- ・飲食・物販セグメントの中心事業である、四国キヨスク(株)のコンビニ店・土産店部門の売上高について、KPI・KGIを設定します。
- ・生活スタイルの変化等に対応するとともに、地元のお客様に向けた商品の品揃えを強化します。

1Q	10.6億円
2Q	11.9億円
3Q	11.5億円
4Q	8.8億円
KGI	43.0億円

【参考】2022年度実績：40.4億円



(2) 2023年度のKPI・KGI

⑨コスト削減の取組み

- ・業務のデジタル化や安全に影響しない修繕費等の見直しにより、グループを挙げてコスト削減に取り組みます。
- ・省力化・省人化による生産性の向上を図り、鉄道事業を中心に要員削減を進め、成長分野へのシフトを図ります。

1Q	コスト削減（JR四国0.4億円、グループ会社0.1億円）
2Q	コスト削減（JR四国0.4億円、グループ会社0.1億円）
3Q	コスト削減（JR四国0.4億円、グループ会社0.1億円）
4Q	コスト削減（JR四国0.4億円、グループ会社0.1億円）
KGI	コスト削減（JR四国1.8億円、グループ会社0.4億円） 要員削減に向けた取組みの推進（数値は今後精査）

【参考】2022年度実績：JR四国2.8億円、グループ会社2.8億円